

2026年4月7日

各位

SBI Ripple Asia 株式会社

## トークン発行基盤システムの開発完了および 第三者型前払式支払手段発行者登録完了のお知らせ

SBI Ripple Asia 株式会社(本社:東京都港区、代表取締役:奥山 真史、以下「当社」)は、パブリックブロックチェーン「XRP Ledger (XRPL) ※1」を活用したトークン発行基盤システムの開発を完了し、2026年3月26日付で第三者型前払式支払手段発行者の登録を完了しましたので、お知らせいたします。

本取り組みは、現行の資金決済法に準拠した第三者型前払式支払手段を、パブリックチェーン上でトークンとして実装する金融インフラの構築を目指すものです。

### ■トークン発行基盤システムについて

本システムは、既存のアプリケーションやウェブサイトとAPI接続することで、ブロックチェーン上でのトークン発行・管理を実現します。事業者は、既存のサービスや顧客接点を維持したままトークン機能を導入でき、利用者はこれまでのサービス体験を損なうことなく、自然にデジタルアセットを保有・利用することが可能となります。

また、本システムは、第三者型前払式支払手段に求められる各種金融規制要件への対応を前提に、パブリックブロックチェーンのXRPLを基盤として、当社独自のウォレット制御技術を組み合わせることで構築されています。

### ■第三者型前払式支払手段発行者の登録完了

当社は2026年3月26日付で、第三者型前払式支払手段発行者としての登録を完了しております。これにより、当社は本システムを活用し、トークン化された第三者型前払式支払手段の発行を行うことが可能となります。

### ■今後の展開

本システムは、観光地をはじめとする特定の経済圏において、消費行動とデジタルインセンティブを連動させるユースケースへの活用を想定しています。当社は、既存のサービス基盤と連携しながら、実経済においてコストメリットやサービス拡張性といった価値の創出を伴う、新しい決済・インセンティブの仕組みの構築を進めてまいります。

当社は今後も、規制に準拠した形でのブロックチェーン技術の社会実装を推進し、パートナー企業や地域との連携を通じて、新たなビジネスモデルの構築に取り組んでまいります。

※1 「XRP Ledger (XRPL)」: 高速かつ低コストでデジタル資産の発行・取引を可能とするパブリックブロックチェーン基盤

■会社概要

SBI Ripple Asia 株式会社

設立:2016年

所在地:東京都港区

事業内容:日本および韓国におけるブロックチェーン関連ソリューションの提供、クロスボーダー決済およびデジタル資産関連事業の推進

URL:<https://www.sbigroup.co.jp/company/group/sbirippleasia.html>

以上